

ぷらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)

福祉特集

古牧地区ボランティアセンターが スタートします



第35号
古牧だより通算129号

□発行所 古牧地区住民自治協議会
□発行者 湯沢角雄
□編集 福祉部会編集委員会
□印刷 博光印刷株式会社

私たちの「古牧地区ボランティアセンター」が11月7日オープンします。

豊かな住みよい地域づくりを目指し！

楽しく住みよい豊かな「古牧」を目指し、ボランティア事業への多様なニーズに対応するため、住民自治協議会では福祉部会が中心となり古牧地区ボランティアセンター設置検討作業を進めてきました。

福祉関係団体の責任者の皆さま、各区の区長はじめ多くの関係役員と協議を重ね、去る9月9日住民自治協議会役員会においてボランティアセンター設置を協議決定し、長野市社会福祉協議会に申請手続きしました。

望ましい地区ボランティアセンターを創り発展させていくために解決すべき課題は多々ありますが、当面は福祉事業に係わっている委員がボランティア活動について学習し、ボランティアセンターの体制や事業の在り方等これから整備していく計画です。

て整備し「古牧地区ボランティアセンター」の看板を掲げパソコンなどの情報機器を備えるほか、専用電話を設置します。

設置場所は大変狭いために、地域の皆さんが自由に集う事ができません。

ボランティアセンター設置場所問題は、実施する事業内容に大きく影響する課題でもありますので、中長期的な課題と位置付けて、今後検討していきたいと思っています。

センターの設立日

10月末までに諸準備を完了し11月7日(月)にオープンします。

ボランティアセンターの担当者や、電話番号など詳細内容につきましては後日、区民回覧によりお知らせする予定です。

当面の実施事業

ボランティアセンター発足当初は、次の事業を実施していくことを考えています。

- ① 福祉情報の収集・提供
- ② 各区の福祉活動を支援する為、研修・講習会などへ講師などの派遣
- ③ 楽しいレクリエーションの企画・実施
- ④ 高齢者などへの家事援助サービス事業に関する検討・充実

センターの設置場所

古牧公民館内の古牧支所内北西側にある現在の福祉事務室をボランティアセンターとし

ボランティアセンターについては多種多様なご意見・要望・意見等があることと思います。

高齢化が進み、一人住まいの人が増えつつある社会、いわゆる核家族化が進展しています。

このような地域社会の中であって、お隣近所が助け合いながら日々の生活を豊かに幸せに過ごしていくことが望まれているのではないのでしょうか。そんな認識をもって真に地域の期待に応えられるボランティアセンターとして育て、成長させていきますので地域の皆様のご支援ご協力をお願いします。

第24回「希望の旅」身障者等のであい・ふれあいの集いが行われました

須坂市の湯っ蔵んどで10月5日、73名の皆さんが参加され盛大に開催しました。

小林福祉部会長の進行によりセレモニーが行われました。湯沢住民自治協議会長のご挨拶につづき、協力団体や看護師の皆さんの紹介が行われました。

その後、お風呂に入ったり、お茶を飲みながらおしゃべりしたりと自由にひと時を過ごしていただき12時から宴会を始めました。



南長池の皆さん



五分一の皆さん



東和田・西尾張部の皆さん



中村の皆さん



川端の皆さん



北条・南高田の皆さん



西和田の皆さん



荒屋・平林・上高田・ボランティア古牧の皆さん

一人暮らし高齢者の集い

◎9月26日に一人暮らし高齢者の集いを開催しました。約30名の皆さんに参加いただきました。ボランティア古牧の皆さんの指導のもとで料理づくりに挑戦し栄養満点の素晴らしい料理が出来、皆で美味しくいただきました。

◎包括支援センターから保健師さんをお招きして血圧を測ったり、健康相談を行いました。皆さん熱心に自分の健康問題に取り組んでいました。

◎生伴奏による故郷唱歌を皆で唄いました。元気で楽しいひと時を過ごしていただきました。



ビンゴゲームを
楽しみました



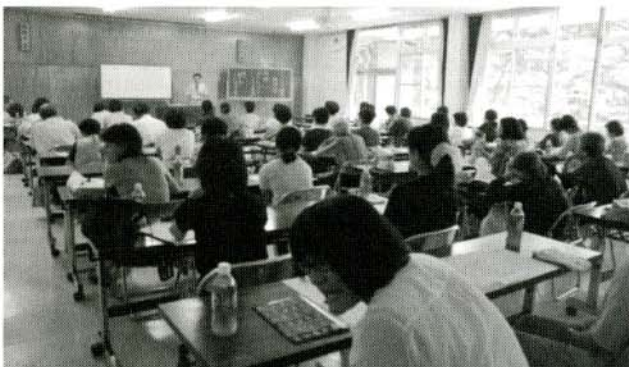
皆で楽しく
唱歌を唄い
ました
少年、少女のあ
の頃に帰って



心の健康講演会

鶴賀病院の先生をお招きして、9月15日に「こころの健康講演会」と題して、ストレスによるこころの病気について学びました。

当日は60名程の参加者となり大盛況でした。うつ病で自殺者が増えていること、うつ病の対処には身近の人達の理解が大切なことなどたくさんの学びを頂きました。



男性の料理講習会

本年度3回目となる「男性の料理講習会」が9月6日に開催されました。

食生活改善推進協議会の皆さんに指導していただいて、参加した18名の男性の皆さんの希望で餃子を作りました。

楽しく作ってますか？
…頑張ってますよ。

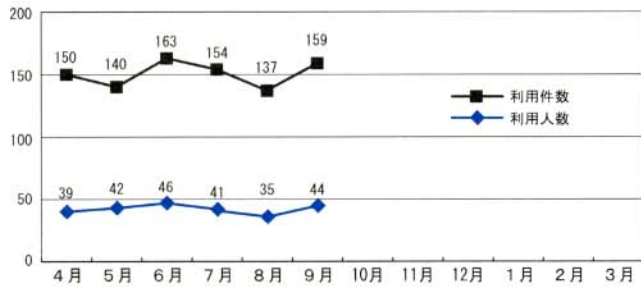


あいりん号通信 No.20

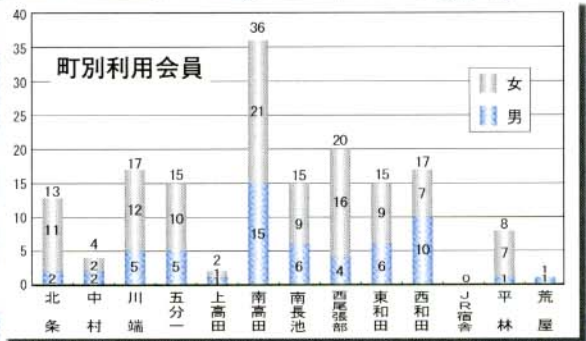


利用状況

月別利用件数 (片道: 1件)



登録状況



ある日の利用者さんとの会話より

古牧福祉サービスセンターです。

〇月〇日〇曜日、中央病院へ行きたいので、車をお願いします。

予約は何時ですか？

時間は、またお知らせしますね。

予約なしで行くので、そちらの都合のいい時間でいいよ。付添の人もお願いしますね。

***** 数日後 (利用前日) *****

明日は、10時45分に車が行きます、付添(通院介助)のBさんは、車の15分前に行きますので、よろしくお願いします。

よろしくお願いします。

Aさんは、一人暮らしで車いす利用のため、家事援助サービスの通院介助を利用しています。協力会員のBさんはAさんの家～病院～家と付き添って行き、Aさんは安心して病院へ行っています。予約の受付は一週間前締切でコーディネーターが調整し、前日に時間をお知らせしています。普通、病院の予約時間がある方を優先して運行予定をたてますが、Aさんは急がないということでした。方向と時間が同じ時は相乗りになる時もあります。偶然にも知り合いで相乗りになり話に花を咲かせていた方々もありました。

一人でバスに乗って通院できない程度に歩行困難な方、「あいりん号」をご利用ください。お近くの民生児童委員または下記古牧福祉サービスセンターまでご連絡ください。

(コーディネーター 小林ひと美)

家事援助サービスは、福祉自動車と同じく長野市社会福祉協議会の『地域たすけあい事業』です。通院介助・調理・清掃・買い物などを古牧地区の方がお手伝いをします。詳しくは、下記の古牧福祉サービスセンターまでお問い合わせください。なお、お手伝いをしていただく協力会員さんも募集中です。



福祉自動車・福祉に関するお問い合わせは...

古牧福祉サービスセンター (古牧支所内) **244-5522**

コーディネーター 小林ひと美
福祉ワーカー 小林 静子

編集後記

厳しい残暑が過ぎ爽やかな秋となりました。今年は、地震、台風などたくさんの災害に見舞われた日本列島、辛く悲しい出来事の多い年となりました。古牧地区にお住まいの皆さん、防災意識をたかめ備えを万全に！地域の絆、お隣近所の助け合いが大切なことも学びましたね。9月は各区で敬老会が行われました。皆さんの区の敬老会はいかがでしたでしょうか。人との交わりを大切に、元気で長生きしたいものですね。(T. I記)